

貞山運河

歴史セミナー

貞山運河は全長31・5キロに及ぶ日本一長い運河です。

「貞山堀」の呼び名で親しまれて、いる水路は

どのような目的で造られ、どんな恵みをもたらしたのでしょうか。

約400年前、伊達政宗の命で築かれてから令和の今日まで、

いまに伝えるメッセージを読み解きます。

話題提供の部

大和田雅人(おおわた まさと)

貞山運河ネット副会長、フリージャーナリスト

東日本大震災から13年を経て、貞山運河の現状はどうなっているのか。舟運の復活と再生に期待は高まります。水路のいまとこれからのまちづくりを紹介します。

講演の部

名取市は昨年度から市史編さんプロジェクトを進めています。研究と執筆を受け持つ第一線の歴史研究家が、街並みの形成と舟の行き交った歩みをとことん深掘りし、知られざる事実之光を当てます。

1. 仙台城下建設を支えた閑上湊

菅野正道(かんの まさみち)

郷土史家、元仙台市史編さん室長

2. 江戸時代の閑上湊と東廻り海運

井上拓巳(いのうえ たくみ)

さいたま市教育委員会事務局文化財保護課学芸員

日時

2024 2.23 金祝

開場 13:00

開始 13:30

終了(予定) 16:30



会場

名取市文化会館・中ホール

名取市増田字柳田 520 番地

アクセス

電車：JR各線「名取駅」東口から徒歩約17分

仙台空港アクセス線「杜せきのした駅」北口から徒歩約8分

お車：仙台市から約25分。駐車場無料(数に限りがあります)。

参加費

500円

事前申込必須 ※申込方法は裏面をご確認ください

※資料代。参加費は当日受付でお支払いください。

主催

一般社団法人 貞山運河ネット

TEL.022-262-2322

Mail teizanunga@p-office.co.jp

http://www.teizanunga.net



共催

名取市教育委員会

TEL.022-290-2090

Mail shishi@city.natori.miyagi.jp

教育部市史編さん室

講師プロフィール

菅野正道

1965年仙台市生まれ。郷土史家。東北大学大学院卒。仙台市博物館の仙台市史編さん室長を務めた。東北の戦国史や伊達政宗をはじめとする仙台藩の歴代藩主と家臣団、城郭やまちづくりなどに精通し、講演をこなす。主な著書に『伊達の国の物語』、『せんだい歴史の窓』、『イグネのある村へ』『昭和を走った仙台市電』などがある。2021年に貞山運河沿いの集落の歩みをまとめた『海辺のふるさと』を執筆している。

井上拓巳

1979年埼玉県生まれ。さいたま市教委文化財保護課学芸員。日本近世史の研究者。法政大学大学院人文科学研究科修士課程修了。江戸時代を中心に、東北・関東地方の海運・舟運、湊や河岸などの歴史調査を行っている。著書に『荒浜湊のにぎわい 東廻り海運と阿武隈川舟運の結節点』(単著)、『仙台藩の洋式帆船開成丸の航跡 幕末の海防構想と実践の記録』、『東北史講義 近世・近現代篇(ちくま新書)』(共著)などがある。



【地図】昭和初期の関上地区。子どもたちの卒業制作で描かれたとみられる。あんどん松と増東軌道も見える(関上小中学校所蔵)

話題提供者

大和田雅人

1960年仙台市生まれ。フリージャーナリスト。仙台の水環境やまちづくりについて執筆提言を行っている。主な著書に『貞山堀に風そよぐ』、『四ツ谷用水 光と影 消えた遺産を追う』、『宮城県美術館 誕生から移転断念まで』など。月刊誌らしくに「せんだいは水の都」を連載中。元河北新報記者。

お申し込み方法



メール

下記必要事項を記載のうえ、
teizanunga@p-office.co.jp
までメールをお送りください。

必要事項

- お名前
- お電話番号
- ご住所



お申し込み
フォーム

下記二次元コードを
読み込んでいただき、
必要事項をご記入のうえ
ご送信ください。



FAX

下記のお申込書に
必要事項をご記入いただき、

FAX022-266-9418
(株)プランニング・オフィス社内)

までご送信ください。

貞山運河「歴史セミナー」参加申込書

ふりがな	
氏名	
電話番号	— —
メールアドレス	
住所	〒

※連絡のとれる番号をご記入ください。